

山形県立農業大学校

同窓会だより

第10号

平成27年6月30日

発行／山形県立農業大学校同窓会
〒996-0052 新庄市大字角沢1366
(山形県立農業大学校内)
TEL 0233-22-1527
FAX 0233-23-3119

創立60周年をおえて

同窓会長 庄 司 茂
(金山町 昭和48年度卒)



6月5日
(金)の県立
農業大学校
創立60周年
記念行事に

業王国やまがた」の実現に向けた積極的かつ果敢な挑戦が期待されております。

際しましては、御多用中のごろ多くの御来賓・関係機関の御臨席を賜り、また同窓会・教育振興会・学生も参加して盛会のうちに終了することができました。

これらひとえに皆様方の温かい御支援の賜物と感謝し心からお礼申し上げます。昭和30年以来先人達の築き上げた歴史の重みに深く思いを馳せつつ、本県農業の中核を担う人材育成機関として、なお一層の発展を目指し、役員一同精進を重ねて参りますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、年々変革を続ける農業問題に取り組みつつ「食産

農大生・同窓生への期待の高まり

農業大学校長 大江 栄 悦



生産規模
や販売額、
従業員数等
においても
他産業に引

けをとらない経営や、六次産業に挑む経営が、従来型の逸品づくりの農業経営と肩を並べる時代となり、農業の産業としての魅力は一段高いレベルに届きつつあると感じます。

自ずと、経営者のイメージは、かつて3Kと言われた暗くて重々しいものから、明るく洗練された要素が織り込まれ、地域や関連産業に広がりをもたらず活躍が期待される存在になってきました。

農業大学の使命も自ずと高度化・多機能化し、農大生や同窓生に対する期待が益々高まっています。学生諸君、師弟同行を基盤に、試行錯誤しながらも実践力や解決力を身につけ、プロ

ジェクト発表や地域への貢献活動を通し、「未来と活力をもたらず開拓者」として、それぞれの成長を県内外に示しましょう。そして、山形はもちろん全国をも牽引する経営者として、さらにもう一段高みを目指しましょう。

さて、農業担い手の教育・研修機関である農大にとつて、真に評価され期待されるのは、卒業してからの活躍であると思います。

私は、同窓生の皆さんとの絆を今後さらに太くし、皆さんの御活躍ぶりを県内外に発信していく必要があると考えています。様々な連携の取組みを模索し、県民からさらに支持をいただけるよう学校経営を進めますので、御理解と御協力をよろしくお願ひします。

